

## 会 議 録

### 1 会議名

平成29年度 第12回高田区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて（公開）

(2) 自主的審議事項 高田公園周辺の雨水排水対策について（公開）

### 3 開催日時

平成30年1月15日（月）午後6時31分から午後7時58分まで

### 4 開催場所

高田公園オーレンプラザ 会議室

### 5 傍聴人の数

0人

### 6 非公開の理由

—

### 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：西山要耕（会長）、高野恒男（副会長）、吉田昌和（副会長）、  
青山捷一、飯塚よし子、浦壁澄子、大滝利彦、小川善司、北川 拓、  
小竹 潤、小林徳蔵、佐藤三郎、澁市 徹、杉本敏宏、高橋浩輔、  
宮崎 陽、山中洋子、山本信義、吉田隆雄

- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、榎島係長、小林主事

### 8 発言の内容

#### 【榎島係長】

- ・ 松矢委員を除く19名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条1項の規定により、議長は会長が務めることを報告

#### 【西山会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：吉田副会長、小林委員

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

【西山会長】

「議題等の確認」について、質疑を求めるがなし。

—地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて—

【西山会長】

次第3議題（1）「地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて」に入る。

事務局に説明を求める。

【榎島係長】

当日配布資料No.1、資料No.1、2、3、4により説明。

【西山会長】

前回の議事の内容を反映し、このような案にした。

まず一つ目、事業提案者から、皆さんのところに質問の答えが返ってきてから提出まで、もう少し日数がほしいという意見について、先ほど説明があったとおり、最初の部分で10日間、審査をして提出するまでに11日間という日程案とした。

これについて、意見、質疑を求めるがなし。

この日程でよいか諮り、委員全員の了承を得る。

それでは、審査日程はこの内容で進めたい。

2点目、入場料、参加料、出店料等についても記載してもらうということで、記載例のとおり収入の部、支出の部に書いてもらうということで、このような案とした。

この件について、質疑を求めるがなし。

この案のとおりでよいか諮り、委員全員の了承を得る。

他に、基本的なルールと採点シートの内容について、年度等が替わる部分を修正した。この案のとおりでよいか諮り、委員全員の了承を得る。

来年度の地域活動支援事業に関する募集要項、審査・採択の基本的なルールを、資

料のとおりとすることについて諮り、委員全員の了承を得る。

あと1点、主催するかしないかという点を私で預かりたいということで皆さんにお話ししたが、確認したところ、市としては受付をしないということにはできないそうである。

このことから、できれば、内容等を見ればまた分かると思うし、質問等もしながら、皆さん個々の採点で反映してもらうしかないだろうという意見もいただいたので、できたら、主催という点は案件の内容を見れば分かると思うので、皆さんで、審査、点数を個々で付ける時に反映してもらうこととしたい。このことを諮り、委員全員の了承を得る。

なお、平成29年度の事業のうち完了したものの検証意見を求める依頼文を、本日、皆さんに配布した。案件が6、7件、検証、確認のうえ、意見のある方はセンターへ提出をお願いする。

#### —自主的審議事項 高田公園周辺の雨水排水対策について—

##### 【西山会長】

次第3 議題(2)「自主的審議事項 高田公園周辺の雨水排水対策について」に入る。

先月の会議では、澁市委員の質問に対する、市担当課の回答文書を受けた。

年末には、澁市委員がまとめた資料の提供があったので、委員の皆さんへ送付した。

前回の会議では、今回この自主審議の案件を進めていくために「核」とするものをどのような形にしたらよいかということ、皆さん全員に意見を聞いた。その意見をまとめたものが資料No.5。

本日は他に案件がないので1時間、だいたい7時50分くらいまで、話し合いをすることを諮り、委員全員の了承を得る。

この出された意見について、大きく分かれているところは、1番のAの部分は、市に事業を早期実施、工事や事業計画をこれから進めるのをなるべく早くしてほしいという、市へ早期事業化を促す意見を中心にした方がよいということで出された意

見である。

Bは、高田公園と高田公園周辺を含めた部分と、高田公園だけではなく、寺町や仲町、本町など他の場所も今回の洪水等で被害があったので、そこも話した方がよいという意見も出たが、他の場所を分けて最初に提出があった高田公園とその周辺についての部分を議論して、他の場所については改めてまた議論をするような、ちょうど前回雁木について議論した時に観光面は後ほどまたかけるという形で分けたように進めたらどうかという、そういう意見が出た。

Cは、高田全体の雨水排水対策、高田公園とその周辺だけというか今話したような方法ではなくて、高田区全体の雨水排水対策について、話を全体的にまとめて実施し、検討したらどうかということが出された意見。

D、その他というのは、この3つに属さない部分の意見。

これから本格的にこの自主的審議事項に入るが、話がこっちへ行ったりあっちへ行ったりというふうになる可能性があるので、まずはどこを核に、中心に議論していくかを決めないといけない。

特にこのBとC。高田区全体の話をするか、まずは高田公園周辺の雨水排水対策を中心に議論をするかということ。皆さんからどういうふうに進めたらよいかという意見を求める。

もう1点は、Aの「市への早期事業化」で、こちらは皆さんも当然この議事をしていて、台風の時もそうだが、特に洪水等の対策については実質、高田だけではなくて上越市全体でも、例えば保倉川や青田川などいろいろなところで水害があって、優先順位というのが高田の優先順位だけではなくて、他との比較というか、他と比べての優先順位ということで、早期事業化というのはたぶんどこの区も一緒だと思うし、高田ももちろん事業化を進めてもらわなければいけないということで当然話は出していかなければいけないところである。

その周りを見ながら、調整をしながら、どういうふうな形でこれを出していくかということを検討していかなければいけないのかなと考えている。

この件について、今日は時間を取り話をしていきたいと思う。

まず、大きなところで、上越市全体の対策ということで話をするか、それとも最初に出ていた高田公園とその周辺、北城や東本町等の周辺の話をもっと核にして進めて

いったらよいか、皆さん、どちらで今後話を進めていったらよいか意見を求める。

**【高野副会長】**

今、会長が言われた、何を自主審議として上げるのかという、その核だが、最初は高田公園と言っていたのが、今度は他にもあるとなってきた。そうすると、そこまでくると今度は全市的な問題になってきて、他の区にもある。そうすると高田区だけ先にしてほしいということは言えないわけである。そののところは、何を上げるのかというところを皆さんからここだとして出してもらった方がいいのではないかと私は思う。

皆さん、いかがか。

**【西山会長】**

ここは自由に、本当に思っている意見を出してほしいので、遠慮なしに考えを出してもらいたいと思う。

**【小林委員】**

今の話だが、やはり高田全体でももらいたいと思っている。高田公園だけではなくて、東本町だけではなくて。

私が昔住んでいたところは、大きな雨が降るとよく浸いたものである。やはり上越市全体で考えないと。それで市も5年、10年、100年と計画を立てているのか、それを聞きたいと思っている。水の関係で。排水というか洪水関係のことで。

**【西山会長】**

事業計画はこの前の説明で、立てているという話はあったので、それを早期に進めることなどを付け加えながら、また説明を受けるということでよいか。

**【小林委員】**

そのとおり。

**【青山委員】**

やはり高田のお城を中心とした最初の原案でないと。

例えば川を含めてくると、これは県の仕事になるし、それから私が今関わっているのが儀明川ダム、これも順番としてはもう35年くらいまでには本体工事が始まるというようなことで、行政をきちんとしていくのであれば、これは当然お城の周辺と。上越市役所で可能な地域、それをきちんとまとめてした方が。

例えば青田川にしても、バイパスを作っているから大きな雨が降れば全部関川へ

流れると。儀明川は一応ダムの計画があるということで。お城中心に考えていった方がいいのではないかと思います。

#### 【杉本委員】

私は前回も話をしたが、今の、もともと提案したところを先にちゃんと決着を付けて、そのうえで治水計画を立てると言っているから、全体的な問題はそれを見てから、というか見ながら話をしていた方がよいのではないかと。

だから2つに分けてしたらどうかと思っている。

雁木の時も2つに分けてという話で、前段の方だけしかまだ意見書を出していないが、近々後段の部分もしなければいけない話だろうと思う。

あれと同じような形で、当面、緊急に、目の前にぶら下がっているものを早く処理して、意見書は出してしまっ、後はじっくりと全体を見ればどうかなと思う。

ただ、全体と言っても、どこまで全体にするかというのがある。上越市全部という柿崎や中郷、名立など、ああいうところまで含めてしまったら我々の手に負えないかなと思うので、やはり高田区の中の全体くらいのところに留めておくべきかなという感じはする。せいぜい広げても市民プラザの辺りくらいまでかなと。

直江津のところまで声を出すと、また向こうの人にも何か言われそうな感じもするし、そこまではあまり口を出さないで、高田区の中の問題をここでは議論していったらどうかなというふうに思う。

#### 【西山会長】

今話があったが、雁木の件は忘れていたわけではない。今月また文化振興課の皆さんが町内会長に聞き取り調査をして、その結果をまた持ってきてくれるというのがこの前の話だったので、それが終わらないと観光面や何かに入ることができない。その話の内容を見てから、皆さんにお諮りしようと思っている。そちらの方は忘れてはいない。進めていくので、それはよろしくお願ひしたい。

今、杉本委員からお話があったが、高田区と吉川区というと全く違うのだが、関連する周辺、隣に面している所で必要な部分があったら、そこについては確かに話し合いの対象にはなると、前、私は説明があったと思うので、もしするのであれば、やはり面している、例えば金谷や春日、和田、そういう所も含めて高田が中心というのは変わらないので、またそういう話をすればよいと思っている。

杉本委員からは、高田公園とその周辺でまずは1回議論をして、結果、まとめを出したらどうかと。青山委員の意見もそれと一緒にだと思う。小林委員は全体でという話だった。他にどちらの方がよいという意見、ここがひとつのターニングポイント、分かれ目になると思うので、遠慮なしにどんどん意見を出してもらえればと思う。

#### 【大滝委員】

言われたとおりである。我々は高田区の地域協議会なので、他のところまで手を出すとそれはまた違う話だと思うし、川の話になれば関川自体、妙高山の頂上からなので、じゃああの頭から全部するのかという話になってしまう。

やはり高田のこの城を含めた、真ん中の所、ここを焦点にして。他にもいろいろあるのは、それは市が全般に考えればよいことであって、顕聖寺から始まり、保倉川から始まり、水害が出る所はいつも一緒なのだが、そちらに手を出すとピントもぼける。我々はやはり高田の中をずらした方がよいと思う。城跡の周辺に絞った方がよいと思う。

#### 【澁市委員】

私も調べたのだが、我々が今問題としているのは内水排除である。関川や儀明川、青田川という河川から水があふれてくる洪水ではなくて、高田で言えば高田市内の水をどういうふうに排除するかという問題。市はそれについて、私も文書でも書いたが、上越市雨水管理総合計画というものを作っている。20年くらい前に旧上越市で作ったものがあるそうだが、それは少し古いので新しく作っている。

そこで来年の3月くらいに計画が完成すると。それにしたがって事業を実施していくという話である。

その中で優先順位はどのように付けるのかと聞いたら、過去の被災の例などで付けると。そしてここにも書いたが、地域協議会にそれを報告したり意見を聞いたりするつもりはあるかと聞いたら、全くないということなので、その辺も我々は留意しておかなければいけない。

上越市全体なのだが、我々はその中から高田区を区切って、そして見るということでは可能だと思う。

今回の高田公園周辺の洪水対策というのは確かに分かる。実際に水が浸かったと。北城でも水が浸かったと。要するにここは特に危険な所、被害を受けている所ですよ

ということで、我々が「なんとかしてください」というように意見を言う場合、高田区の協議会なので、高田区の他の所に住んでいる方が、私たちも同じような被害を受けているのになぜ協議会は公園の周りや北城だけを挙げるのかと。それを説明できるちゃんとした理由がないと言えないと思う。それを我々は考えなくては行けないと思う。

実際の話として、緊急的に何かしてくださいという場合、技術的なことだから例えばバイパスを作ってくださいということは言えないと思う。それは行政側に任せるということ。

ただし一つだけ言えるのは排水機場。今、2台しかないが、どうしてももう1台欲しいと言っているわけである。設置する人は国土交通省なのだが、市が要請するというのもっとプッシュするという、お願いは高田地区協議会ではできると思う。

実際になぜあそこで水が浸かるかという、今の内水排除というのは、ポンプを使わずに樋（ひ）門を開けたまま内水を出すということだが、関川の水位が高ければ出ていかないわけで、どうしてもポンプが必要になってくる。

完全にポンプではこうとしたら、全部で10台くらい必要だという話である。それは非現実的な話なので、とりあえず一つ、空いている所に新しいポンプを付けていただくように、市から国あるいは県に頼んでもらいたいということは言えると思う。

そこだけ緊急的にしてくださいという場合の理由をちゃんと考えなければいけない。高田区の他の地域の人たちに説明できる理由を考えなければいけないと思う。それが一つ。

既に申し上げたように雨水管理総合計画は今準備している段階だが、ときどき市に聞いて、高田区はどうなっているかと、ちゃんと報告を求めることも必要なのではないか。そうすると我々の意見も反映せざるを得なくなる。それが私の意見である。

#### 【宮崎委員】

それに関して、意見をまとめた資料No.5の中に「二つそろえて」と書いてあるのは、今、澁市委員が言われたようなことである。

だから、あのおり視察をして、今、澁市委員は本当によく指摘されたが、直近の問題はやはりあの場所の排水機の機能の問題から、もう1台増やせとか2台増やせというのがまず一つ。



それから、全体という形になってくると雨水計画という形の中で、きちんと声を聞いて、報告をしてしなさいよという点の二つを並行してすべきではないかと。切り離すという形ではなくて、公園の問題はこういう問題がある。それから雨水計画ではこういう問題がある。澁市委員が言われたような形で、二つを並べて出せばいいと私は思う。

**【飯塚委員】**

詳しくはよく分からないのだが、やはりあそこへ視察に行った時に、1台空いているあれを早く実現させた方が。自分の近辺と言っては失礼だが、その方が助かるので、私はそういうものが北城なら北城、高田区なら高田区でしていった方がよいかかと、今、皆さんの意見を聞いて思った。

**【浦壁委員】**

やはり高田地区なので、地区の人たちが、特定の地域だけのことに関わっているという、そういうふうな批判を招かないためにも、全体的な、根本的な問題になるかもしれないが、その原因がどこにあるのか、やはり高田全体として考えてみる意義は大事かなと思う。

高田公園などに特定するのではなくて、高田地区の問題として問題点をもっと明確にしていくというか、そのような進め方がよいのではないかなと思う。

**【小川委員】**

私も高田区の問題だと思っている。

**【北川委員】**

私も高田区全体のことということで話を進めたらよいと思う。

**【小竹委員】**

私も高田全体で考えていった方がいいかなとは思いますが、高田全体で考えていった時に、やはり話の規模がとて大きくくなっていくかなと思うので、将来的に高田全体でやるということを前提にして、まず高田公園を先にしてからでもいいのかなと、話を聞いていて思った。

**【佐藤委員】**

私も高田区全体で審議をするということで前回発言し資料No.5に書かれているが、緊急性が高いものというように分けてされた方がいいのではないかなと思う。

【高橋委員】

高田区全体で考えていくことが最終的には望ましいと思うが、とりあえずはやはり、そもそもの発端が公園や北城町周辺の水害対策ということでスタートしたことになるので、それをまず一つある程度の形にしてから、高田区全体に拡大していく方法がよいのではないかと感じている。

【山中委員】

私も高橋委員の意見に賛成である。

やはり、最初から広げてしまうと何か焦点がずれるというか、せっかくこの高田区域で、高田区の協議会で高田公園周辺のここに着目したわけである。だからそこをまず協議していったらよいのではないかと思う。

【山本委員】

同じような意見だが、総花的に議論をすると、なかなか意見書としてまとめるのにはないだろうか。現在、高田公園の関係ですが、結果として同じ水の流れ、同じ排水関係がつながっているわけだから、したがって、とりあえずは喫緊の課題として公園とそれにつながる排水、水の流れを検証して、意見を出した方がよいと思う。

【吉田隆雄委員】

私は、結果的には高田区全体を考えるべきだと思う。ただ、その区の中から、例えば周辺についてはこういう意見だと、青田川についてはこういう意見、こういうふうにやったらどうかと、そういうふうに分けて、全般的には高田区を考えるべきだと思う。

ただ、私自身そう言っているが、例えば儀明川という話があった。儀明川が予想以上に大雨が降ったら、儀明川というのは流れる水の量を調整するダムがあるそうである。それは私は地元の間人ではないので分からないのだが、松が峰ダムか、何かあるそうである。

そのダムが、雨がいったまいったがために危なくなってきたということで、急きょ放流してしまった。そうしたら私の家に被った。

そういうこともあると、果たして高田区のことだけを考えてもいいのかなど。

でもやはり、そういうのをひとつ、高田区全体を見ながらひとつひとつ、公園とか青田川とか儀明川とか、儀明川では過去にこういうことがあったからこう、というふ

うに、私は分けていった方が分かりやすいのではないかと思います。

**【吉田副会長】**

私は、最終的には高田区全体を考えればよいと思うのだが、まずは近々で高田公園周辺の北城町を中心に考えたらどうかと思う。

**【高野副会長】**

私も、考えるのは全体で考えてよいと思うが、今回は高田公園ということで絞っていった方がよいのではないかと思います。そうでないと話はまとまらないと思う。

それと、もう1台ポンプを付けるとか、こうするということになる、自主審議というよりも要望書になるのではないかと。私はどちらかというところの傾向が強いのではないかと考えている。要望ということではないのかなと。私が考えているのはそんなことである。

**【西山会長】**

皆さん全員の、意見を聞かせてもらった。

形として高田公園周辺、例えば北城や東本町など今の部分で必要な部分について、まずは自主審議を出して検討をして、それにはたぶん、最終的にはこういう理由だからポンプを付けてくださいと言うのならよいが、最初からポンプだけ付けてくださいと言うと高野副会長が言っているように、ただの要望になってしまう。こういう理由があってどうしても必要だからポンプを付けてくださいというのも含めて議論をしていく。

それが一つと、そのあとに様子を見ながら、高田区でも他に水害等で困っている所があるから、それも杉本委員が言われたように、それをまず一つ終わらせてから、それをまず話し合ってから周りをもう1回見るという方法と、いろいろな所があるのだから高田区全体、57町内を全部机の上にあげて、一緒に議論をする、そういう議論の方法がよいというのと、大まかに二つに分かれたと思う。

ちょっと流れとしては、高田公園とその周辺をして、それによって先ほど杉本委員が言われたように、周りの方も忘れていたわけではないので、検討をしていくという方向でどうかという意見の方が若干多かったと思うのだが、皆さんどうか。

先ほども高橋委員、山本委員からも話があったが、57町内全部の話をしていくと、たぶんものすごい議論の時間になると思う。

だから今回の自主審議については、まず杉本委員から提案されたのは、高田公園とその周辺の、今、実際に水に浸かって困っている地区があるということで、そこをまずは話し合いの中心の核として、それにプラスして、解決策としてポンプを付ければよいのかというのも一緒に話し合いながら検討して、そしてそれが必要な場合、たぶん市に出すと返答は必ず来るので、それを見ながら今度は高田区全体の状況を見ていくような話し合いの進め方をしていったらいいのかなと思う。

ただ、高田区全体でという意見もあったので、その辺、これを決めないとたぶん全体がという、また地区も高田公園だ、寺町だ、南本町だといってどこでも、うちの所でもちょっとあるよ、そこもあるよなんていう話をしていくと、たぶん1年がかりの議論になるのかなと思うので、まずは出された自主審議の高田公園とその周辺について、話し合いをして、杉本委員が言われたように、その様子を見ながら、また周りを皆さんがどういうふうに今後、これは問題があるわけなので、どういうふうに問題を出していくかというのをまた検討する形で進めてもよいか。いかがか。

全部一緒にしたいという方ももちろんいたので、また意見をもらえればと思う。

【高野副会長】

採決をしたらどうか。

【西山会長】

採決でもよいか。

【高野副会長】

採決しないと話が進まないと思う。

【澁市委員】

これは採決の問題ではない。

【高野副会長】

では、どうするかということである。

【澁市委員】

杉本委員が言われたように、まず上越市全体の雨水管理計画というものを作っているわけである。それはあと1年くらいできると。それにしたがって、昔の計画にしたがって、上越市も内水排除のための施設を作っていると。

ただ整備率が53%であまり芳しくない。だからところどころで実際20ミリく

らいの雨でも冠水しているんですよ。

最近の、特に今年あるいは7年前の水害で、実際に洪水にあった所は高田公園周辺と北城である。これは緊急性がある。この対策をするということは緊急性がある。特に北城はもともと田んぼだったところに住宅地ができたわけなので、実際、排水機場の水位よりも低くなる。だからどうしても冠水するのだと。その辺を緊急的にしていただきたいということは、十分に理由がたつと思う。

だから計画を作りつつ、もっと早く整備をしてくださいという、高田区全体の計画については一言言って、その中でも高田公園周辺あるいは北城町の一部等については実際に冠水が発生していると。床下の冠水被害にあっている。これは緊急的な施策が必要だと私どもは考えていると。だからそういう施策を緊急にしてくださいと。

特に私どもが視察した排水機場では、市の方も言っている。これは2台では足りないと。もう1台欲しいと。だから私どもが一言言えば、市の担当者も「高田区地域協議会でこういうことを言っています。市長なんとかお願いします。」ということと言えると思う。要望というよりも事実なのだから、それを言うことはできると思う。

だから二段階方式でしたらどうか。要するに、全体についてももう少し整備を進めて、緊急的、優先度を付けて整備をどんどんしてくださいよと。計画を作る段階で私どもにも情報を入れてもらい、私どもの意見も聞いてくださいと言うのが一段目でしょう。

上越市全体の雨水管理計画についての計画、特に高田公園周辺、二段目として高田公園周辺と北城辺りの洪水、よく水に浸かるところは緊急的な対策が必要なので、市が行う事業の優先度を高めてくださいとか、あるいは国土交通省が作るもう1台のポンプを要望してくださいと。要望というかそれを速やかに実施するようにしてくださいということは言えるのではないかな。

他に心配しているのは、高田の他の地区の人々が、高田公園周辺や北城に住んでいなくて同じような洪水にあっている所があったとしたら、その人たちが、なぜ協議会は高田公園周辺と北城だけを言うのかという、そういう非難が出てくると困るので、十分にそれを理由付けできるようなことを考えるべきだと思っている。

#### 【西山会長】

今、一番話し合いをしなければいけないのはどこかという、やはり私も現状を見

ているから、北城は雨が降るとあれだけ、自分でも車で通ることができないくらい水がたまっていてすごいから。

自主的審議事項で、もし皆さんが最終的に意見書を出すと判断した時に、一番の根底にするのは何かというと、全体よりも本当に今は北城だとか高田公園周辺が実際に洪水になると水があふれて大変なので、何とかしてもらいたいというのがやはり中心、個人的には中心になるのかなと。

結局、ポンプを付けるだとか排水路を早くしてくださいと言っても、市は一生懸命がんばっているんで、なるべく早く実施するようにしたいと思いますという返答、それだけで返答が返ってくると思うので。頑張っていますとか、進めますと。

だから切々と訴えるものというのが、大きい、全体よりも切々として、まずここにあるんだというのをもう一回再認識してもらおうような意見を出した方が、もし意見書を出す、意見書を出すか最後に皆さんにお諮りするんで「もし」という言葉を使うが、出す場合にはやはり有効なのかなというふうに、私は個人的に思う。どうでしょう。

#### 【杉本委員】

全体的な話をする時に、私はひとつ心配なことが実はある。というのは、この高田公園のところの話を市の担当者から聞いたりしていて、来ているのは雨水対策の人たちでしょう。私はやはり防災対策だと思う。防災関係の人が誰も出てこないではないか。こういう水害に対して。

だから全体の話をする時には、私の気持ちとしては、雨水対策ではなくて水害対策としてどうするのかという話を詰めなければならないと実は思っている。

そこまで話を広げないと、有効な解決策、全体的な解決策というのはたぶん出てこないだろうなと思っている。

それまで待っていると、今の高田公園のところの話がどこかへ吹っ飛んでいってしまって、何もなくなってしまわないかと懸念されるものだから、まずはこちらをひとつ決着をつけて、そして総合的な対策というのはやはり都市計画の問題もあると思う。そういうところが何年たってもしていなくて、今、下水道課だけで処理しようとしている。これでは話にならないと思っている。実は。

だから全体の話をする時には、もっとそういうところまで突っ込んだ話をしたい

なという思いが実はある。直接の解決策にはならない話だが。

**【西山会長】**

まずは今、杉本委員や澁市委員の話聞いた。皆さんにも話してもらった。どこを中心に、核にして議論していくかということで、本当に全体ですか、まずは高田公園周辺を中心に話をしあって全体を見ていくかという話のどちらかでしないと、たぶんこの議論をしていても、どっちこっちつかず話していると内容がずれたりするので。高野副会長も先ほど決を採ったらどうかと、私も決はどうかなとは思いますが、2つの意見がある以上、どちらかにまずは絞りたいと思うがいかがか。

**【飯塚委員】**

水がよく浸かる場所のことを皆さんは把握しているのか。

雨水対策がうまくいってなくて、雨が降れば北城でも書店の辺りとか、すごく浸かるわけである。だから、すぐ浸かる場所がどの辺りなのかというのが分かれば、それに沿って全体にするか、公園の方の排水が悪いからそちらが浸かるんだと、ポンプが3基のところ2基しか設置していないから、それもあるのではないかと思うのだが。

雨が降るたびに水が浸く場所を把握して、それに絡めた改修というか計画を、雨水管理総合計画か、その方へ進めていってもらって、全体かどうかというのでしていただければと思った。

**【西山会長】**

だからそれは全体ということですね。北城だけでなく。

北城は実際に浸かっているというのはもちろん分かっている。例えばの話で、仲町の端、南本町の端も必ず浸かるところがあったとすれば、それも含めて議論をするということですね。

ということは高田区の57町内全体を対象に話をしていくという方向になる。今の話だと。

それと別に、まずは北城周辺というのが今一番多いわけである。だからそこを中心にまず議論をして、意見書を出して、その結果と併せて周りももう一回検証していくと。やらないということではなくて、やっていったらどうですかというのが、たぶん全体の、皆さんの話だったと思う。

【飯塚委員】

不公平感のようなものは出ないか。

【西山会長】

会長でこんなことを言ったら申し訳ないが、不公平感と言って、5 7 町内がすべて一定というよりも、より生活するのに困っているところ、損害が出ているところがやはり一番優先。

上越市もそうである。排水の工事をするとところがあったら、高田区ではなくて、例えば先ほどちょっと言ってしまう申し訳なかったが、保倉川の方がいつも避難したり、吉川の方が避難勧告でみんな避難したりしているから、そちらが優先ですよと言われてしまうと、それもそうだなと思わざるを得ない部分もある。

それと一緒に、高田の中でも本当に優先度があるところというのがあるので、まずはそこが今議案で出ているので、懸案で出ているので、まずそこを話し合っ、そしてそれで終わりではなくて周りも一緒に、今度は新たにそれも含めて見ていきませんかというのが、今皆さんから出ている話だと思う。

寺町と南本町と、それから高士だとか、全部が必ず同じ条件で話をしなければいけないというよりも、より困っている所が話の中心になるのは、それは不公平感というのはどこが平等なのかというのが分からないが、まずはそれでも会長として申し訳ないが、そういうところを中心に話し合ってもいいのかなと、私個人的には考えている。決して他のところを検討する必要はないという意見ではない。

いかがか。こういう話も、皆さんそれぞれ思いがあると思うが、ここで一回、皆さんがご意見をどれくらい考えているかを知りたいというのもあるので、高田公園周辺等をまず中心に話し合いを進めていくということと、高田区全体5 7 町内全てを含めて話をしていくか、どちらの方向で進めていくかを皆さんに採決で聞いてよいか諮り、委員全員の了承を得る。

- ※採決
- ・まず高田公園とその周辺を中心に議論… 1 5 名
  - ・高田区全体で議論 … 2 名
  - ・白票 … 1 名

「まず高田公園と周辺を中心に議論する」が1 5 名、「高田区全体で議論」が2 名、白票1 名により、まず高田公園と周辺を中心に議論することに決する。



その中で、他の部分の話も出てくると思うが、自主審議としてはそのように進めることを確認し、委員全員の了承を得る。

ここから具体的な内容を話すとしても、予定時間まで10分、20分なのだが。

【杉本委員】

少しすれば。

【西山会長】

それでは、これで核が決まったので進め方を。

今、高田公園と北城周辺を核にして話すということになったが、その地域の中でも特に核、問題になることを、ある程度話していかなければいけない。

例えば、前回の地域医療センターであれば、住民が通いやすい、地域に密着しているなど、が出て、それをひとつひとつ核にして意見書に組み合わせていったのだが、今回、高田公園とその周辺ということを中心に考えると、どういうところを。これだけは一番の核になるというようなものについて意見があれば、もう一度出してほしい。これは意見を出してもらった部分だが、他にあるか。

今、資料No.5のBに書いてある青山委員、杉本委員、高橋委員、松矢委員、宮崎委員、山中委員からは分けて議論をするということで、ここに記載してあるが、この他にこれは絶対に外せないポイント、議論しなければいけないポイントを持っていれば挙手のうえ発言を求める。

ここに書いてあるものでも結構だが、これがやはり、という意見でも構わない。

【杉本委員】

最初は、あの地域が頻繁に被害を受けている大変な所だということをまず述べ、緊急に何か対応が必要ですよというのが2番目だと思う。

3番目に具体的に、例えば排水機をもう1基付けるなど。今、策定中ではあるけれども従来の計画でもするという事になっている部分があるわけで、それは従来計画でも優先してすべきではないかという辺り。

だから原因と現状と対策、そんな格好で文書をまとめたらどうか。

5月や6月くらいまで行かないうちに、2月、3月くらいにパッパッパッと文書で、意見書として出して、すぐ全体の話を。しょっちゅう担当課に、どこまで進んだ、どこまで進んだと、やいのやいの言って、来てもらって説明させるということが必要

ではないかと思う。

そうすれば、なるほど、お堀のところだけでなく全部みんな考えているんだなというのが分かるし、そういう中でその次に、2番目に大変なところはどこかというのも見えてくるのではないかと思う。

だからそのような方法でどうか。2月か3月くらいにもう意見書は出してしまおう。

#### 【西山会長】

意見書を出すか出さないかということは最後に聞くので、まず中身の問題点を、共通認識としてもらい、議論していただかないと。ただ意見書だけ出せばよいというのはちょっと勘弁を。議論があつて、最終的に必要だから意見書を出すということなので。それはそれでお願いしたいと思う。

#### 【澁市委員】

基本的に杉本委員の意見に賛成である。

全体と個別に分けるというよりも、実際に内水排除の事業というのは進んでいるけれども、進捗状況が計画の53%で半分くらいはまだ取り残されているので、これはもっと予算を付けて進めてくださいと、まず言わなければいけない。

その中でも特に高田公園周辺や北城など、その辺りでは今年もそう、去年もそうである。過去10年で数回、洪水に浸かっていると。いわゆる洪水常襲地帯ですと。これを緊急的に、優先度が高い、整備しなければいけない地域なので考慮して事業を進めてくださいと。特に北城の冠水の原因というのは、関川の水位が上がって内水を排除できないと、今の2台のポンプでは排除できないと市から説明を受けている。もう1台設置する余裕があると考えているので、増設も考えてくださいということはあると思う。

あと、具体的には市の計画の中で、ここにも書いたのだが、高田公園から水戸の川へ、北城高校からなかしま食堂の横をずっと暗きよで通る。そして左へ曲がって消防署の前を通過して水戸の川へ。東側の方へ出すという計画があるそうである。相当大的な水路なので、排水路、暗きよ水路だから、道路の下を通るので、用地買収等についてはそんなに困難ではないと思う。これを早くしてもらおうと高田公園の排水はかなり良くなると思う。

ただ、水が出ていってしまうと、今度は排水機場の能力が不足してしまうので、や

はり1台の増設は必要になってくると思う。

これは全部、排水機場のポンプを1台増設というのは別だが、排水路の計画というのは実際にあるわけだから、それを優先的にやってくださいということは、意見書として出すことはできると思う。

#### 【山中委員】

私は、実際に今水害が起きた時に、北城などあのような所の人たちはとても不安だと思う。今度いつ来るか分からない。そういう緊迫した状況の人たちが今とても困っていると、生死に関わるかどうかは別にして、とにかく生活するのに非常に困っているということを中心に訴えていったらよいのではないかなと思う。

必然的に、その水害が起きる原因はどこなのかというのは、市ではバカでない限り分かると思う。そこから進んでいったらいいのかなと。

とにかく今困っている人たちのために、その人たちのことを中心に議論していったらよいのではないかな。専門的なことは私もちょっと分からないが、とにかく高田区のこの地域に住んでいる方が実際にとっても困っているわけである。その人たちをどうしてあげられるかということを中心にしていってほしいと思う。

#### 【西山会長】

やはり要望ではなく意見書を出すためには、本当に大変なんだと、何が原因で、今山中委員も言われたが、これだけ住民の方が苦しんでいて、そしてそれを改善するためには私たちが、こういう改善方法がありますということをよく議論し、その結果、例えばポンプや用水路をもっと早くすると。それはもう最後の結果というか、私たちが考えて議論をして、中身を一生懸命検証した結果、これは解決策の一つであると。解決策はいいのだが、その前段階であまり議論をしていないまま、ただ単にポンプを付けろとか水路を早くしろと言うと、先ほど言ったように要望だけになってしまうので、その原因など、一回くらい時間を取ってきちんと皆さんで話をして、その結果必要だったらそういう要望を出すという形で進めていくことが私は必要ではないかなと思う。

その部分がなくて、ただただ要望だとか意見というよりも、そういう部分を次回議論できればと思ってはいるが、いかがか。そこがないと本当に何も中身がなくて、ただ形だけの意見書だとどうかなと思うので、いかがか。

すみません、個人的には、今話を聞いていてそのように考えているのだが。次回、その辺の話をして、今日の話もまたまとめながら、皆さんとまた次回その部分の話をして、その結果必要なら最終的な部分で、水路のより早い実施やポンプだとか、いろいろな部分は必要なものなので実施してもらいたいという話で付ければよいと思っているのだがいかがか。

ちょうど予定時刻になってしまったので。

**【高野副会長】**

私はそこが一番大事なところだと思うので、もう一度、今回意見が出たがまた考えて、次回詰めていけばよいのではないかと思うのだが。

**【西山会長】**

いかがか。

次回、その部分の話をする事を諮り、委員全員の了承を得る。

—事務連絡—

**【西山会長】**

「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

**【佐藤センター長】**

- ・協議会等日程 2月19日(月)午後6時30分～ 高田公園オーレンプラザ  
3月19日(月)午後6時30分～ 高田公園オーレンプラザ  
4月16日(月)午後6時30分～ 高田公園オーレンプラザ
- ・地域協議会活動報告会、地域活動支援事業説明会日程  
3月12日(月)午後6時30分～ 高田公園オーレンプラザ  
\*委員の出席は任意
- ・本日依頼の地域活動支援事業の検証結果に意見あれば1月30日(水)正午までに市では3月の議会に(仮称)旧第四銀行高田支店の設置条例を上程する予定としている。そこで地域協議会に(仮称)旧第四銀行高田支店の管理の在り方について諮問することとしているが、この諮問について、次回2月19日の定例会までの間、2月5日からできれば2月7日の中で、この案件について臨時の地域協議会を開催し、審議をお願いしたいと考えている。またこの協議会では、今後の定例会で審議

案件も多くなることも予想されるため、地域活動支援事業の検証結果についても併せてお願いする予定としているので、よろしくお願ひしたい。

【西山会長】

今、事務局から説明があつたが、活動報告会と地域活動支援事業説明会は、委員の皆さんが出た時には交通費等は出るのか。

【佐藤センター長】

費用弁償は出る。

【西山会長】

任意とはいえ、出方には普通の会議と一緒に費用弁償は支給されるそうなので、よろしくお願ひしたい。

それと今、センター長から話があつたが、冬の時期で皆さん大変忙しいところ申しわけないが、旧第四銀行の設置についてはこの前の諮問で皆さんの方から適当と出していただいて、設置、改修ということで今改修している。

予定としてはこの前の話では4月1日オープンで準備しているが、その利用日、休館日などに関して、どうしても諮問したいということで話が来ている。

ただ、19日だとちょっと間に合わないということなので、できれば2月の第2週に短時間で協議会を1回開催できないかと思っている。

ただ、その諮問だけではもったいないので、今日皆さんに依頼した検証結果を。これからまた諮問が来たり、今の雨水排水もそうだが、地域医療センター病院も来月頭には最終決定で結果が出そうな様子だったり、今後こまごまとそのようなこともいろいろ入ってくると、行えるものは早めに行つて、もちろん簡単に進めるのではなくて、しっかりと議論し、検証、また3月から募集というか相談も始まるので、できるだけ今完了報告が来ている活動支援事業の方の中には来年出す方もいると思うので、検証結果を返せばいいなということも考慮し、できれば5日から9日までの週で1日臨時開催したいと思う。このことを諮り、委員全員の了承を得る。

日程だが、すべて会議等は基本的に月曜日になっている。日程的に5日がちょうど月曜日になる。

皆さんがほぼ出席できるようなら5日でお願ひしたいが、急なので5、6、7日の3日くらいで皆さんが一番集まることができる日にちに設定することを諮り、委員

全員の了承を得る。

今日は松矢委員が欠席だが他の方は全員出席なので、都合を大まかな形で教えてほしい。5、6、7日で順番に聞く。もちろん、3日間出られる方は3日間手を挙げてもらえればと思う。

【榎島係長】

都合つかない人数の方が数えやすい。

【西山会長】

では、出られない、予定が入っているという方から手を挙げてほしい。

【飯塚委員】

18時半でよいのか。

【西山会長】

18時半で、会場はここになる。

※挙手

都合がつかない委員 5日 3名

6日 4名

7日 4名

3人、4人、4人ということで、5日が3人で1人の差だが、5日の18時半からこちらの会場で開催することを諮り、委員全員の了承を得る。

その代わり通常の会議よりも長時間とはせず、先ほども言ったが諮問が1点と地域活動支援事業の今年の実績報告を皆さんで検証することが終わったら、5日は終了としたいと思うので、よろしく願いしたい。

このことを諮り、委員全員の了承を得る。

事務局からの、今後の日程等の説明について、質疑を求める。

【浦壁委員】

私事だが、しばらく不在期間がある。その間に何か回答を求める文書が来ても駄目だが、それは今、事務局に話せばよいか。

【西山会長】

はい。

【浦壁委員】

ではすみませんがお願いしたい。

【西山会長】

他に質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL: 0 2 5-5 2 2-8 8 3 1 (直通)

E-mail: nanbu-machi@city. joetsu. lg. jp

1 0 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。